

2026.10
vol.44

Niigata College of Nursing

PORTICO

新潟県立看護大学ニュース
ポルティコの広場



自治会活動



自治会長
2年次生

私たち新潟県立看護大学自治会は、学生の皆さんの大学生活がより豊かになるように、一致団結して活動しています。

具体的な活動内容としては、新入生歓迎レセプションや自治総会、球技大会などの運営、サークル長との会議等を行っています。今年度は各サークルと話し合いを重ね、サークル費の見直しも行いました。

自治会が運営するイベントに参加した学生に「参加して良かった」と感じて貰うことが、私たち自治会の目標です。様々な人とコミュニケーションを取りながら活動することは、看護の道に進む上でも役立つものであると考えています。

これからも本学に通う学生が、充実した大学生活を送れるように、我々自治会はチーム一丸となって活動していきます。

サークル活動

子ども食堂スタッフサークル



子ども食堂スタッフサークルでは、地域の人が運営する場所ではボランティアを行っています。「子ども食堂って大変そう」「自分にはできるだろうか」と不安に感じる人もいるかもしれませんが、子どもと一緒に楽しむ気持ちがあれば大丈夫です！活動中は子供たちと鬼ごっこやかくれんぼをして遊んだり、ご飯の配膳を手伝ったりしています。たくさん遊んだ後は、みんなで一緒に温かいご飯を食べています。子供たちは元気いっぱい可愛くて、毎回私たちがエネルギーをもらっています。子ども達だけではなく地域の人と関わる機会が多く、この活動を通して学べるがたくさんあります。地域の温かさに触れながらとても有意義な時間を過ごしています。



領域別演習



成人看護学演習

3年生の「成人看護学演習」のひとつです。

写真は点滴の準備・管理と、いざという時のためのBLS（一次救命処置）を学んでいるところです。このような技術などを学びながら病院実習に向け、患者さんの疾患だけでなく、その生活背景や心の声にも耳を傾け、一人ひとりに最適な看護を届けるための確かな技術と温かい心を養っています。



自治会活動／サークル活動／領域別演習P2
ニュージーランド研修／継燈式P3
研究室訪問【老年看護学】P4
科学研究費採択課題一覧／大学院紹介P5

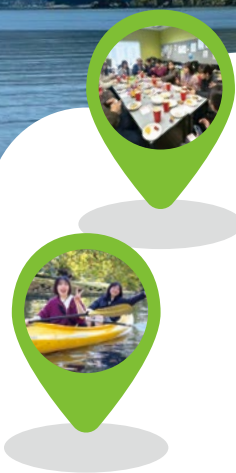
領域紹介【自然科学】P6
民謡流し／同窓会P7
オープンキャンパス2026／WebオープンキャンパスP8



ニュージーランド研修

地域生活看護学領域 老年看護学
青山 拓夢 助教

令和8年度のニュージーランド看護研修（於：クライストチャーチ工科大学）には、10名の学生と2名の教員が参加しました。初日は不安を抱えてホームステイ先へ向かった学生たちですが、看護英語や医療機関見学、文化学習などのプログラムを経て逞しく成長しました。最終日には全員が堂々と英語で成果発表をやり遂げ、2週間での多くの学びと自信が実感できる素晴らしい研修となりました。



2年次生

私は語学力の向上や異文化理解を深めたいという思いがあり、ニュージーランド看護研修に参加しました。海外へ行くのは初めてで、期待と不安が入り交じった気持ちで渡航しました。初日は言語的な障壁に直面し、海外の方とコミュニケーションをとることの難しさを実感して、不安な気持ちが高まったのを覚えています。しかし、ニュージーランドの地で出会った方々はとても優しく、何度も助けていただきました。人の温かさに触れたことで、いつしか不安な気持ちがなくなり、充実した日々を送ることができました。この研修で、多くの貴重な経験と学びを得ることができました。ニュージーランドでの経験や学びを今後の看護実践などに活かしていきたいと思います。

2年次生

私は、さまざまな患者さんの心に寄り添える看護師を目指し、異文化理解を深めるためにニュージーランド研修へ参加しました。2週間の生活を通して、食文化や生活習慣、医療現場など、日本とのさまざまな違いを学びました。特に印象に残ったのは、自然の中で体を動かすハイキングが多くの人に親しまれ、運動が日常生活の一部となっていたことです。この研修を通して、文化や価値観の違いは健康行動や医療に対する考え方にも影響していることを実感しました。今後は、一人ひとりの文化的背景や価値観を尊重し、外国人患者さんを含め、誰もが安心して看護を受けられるよう寄り添う看護師を目指していきたいです。

継燈式



当初、令和8年度継燈式は実施しない方向で決定していましたが、その後の話し合いを重ね、有志44名で挙行することとなりました。今年度は、継燈式の企画・運営を通して、看護を学ぶ者としての自覚と責任を深めることを目的に、学生全員が役割を担い準備を進めました。試験期間と並行して準備を行うことに苦労もありましたが、無事に式を挙行できたことを嬉しく思います。また、準備にあたりご支援いただいた先輩方や教職員の皆様に心より感謝申し上げます。

7月から始まる基礎看護学実習Ⅱにおいても、主体性を持って取り組み、患者さんのニーズに寄り添った看護を提供できるよう精進して参ります。また、神田学長や、実習病院の方、同窓会や後援会の方からいただいたお言葉を胸に刻み、実習に臨む所存です。教員の皆様、実習病院の皆様、ご指導ご鞭撻の程よろしくお願いいたします。

2年次クラス委員

研究室訪問

老年看護学
東條 紀子 講師



先生が現在取り組まれている
研究テーマについて教えてください。

現在は、人生100年時代を見据えたエンドオブライフケア教育に関する研究に取り組んでいます。高齢者が最期までその人らしく生きることを支えるためには、看護師が本人や家族の思いを理解し、多職種と協働してケアを実践する力が求められます。そこで、看護学生が卒業までに身につけるべき力を明らかにし、効果的な教育方法や教育モデルの構築を目指しています。また、地域の看護師の方々と連携し、退院支援やICTを活用した在宅看取りなど地域課題に関する研究にも取り組んでいます。



先生が看護教育・研究の専門家になられた
経緯を教えてください。

私は看護師として長年、がん看護や高齢者看護に携わってきました。その中で、人生の最終段階にある方々やご家族と関わりながら、その人らしい療養生活を支える看護を大切にしてきました。後輩指導を通して教育の面白さを感じ、上司の勧めをきっかけに看護教育の道へ進みました。現在は、学生の看護実践能力を育むことにやりがいを感じながら、教育活動に取り組んでいます。特に臨地実習において、対象者との関わりから得る学びが最も大きいと感じており、その大切な学びと気づきを最大限に引き出せるよう学生支援を心がけています。



お忙しいなかですが、
先生のリフレッシュ方法を
教えてください！

休日には温泉に出かけることが大好きです。自然豊かな場所で季節の景色を楽しみながらゆっくり過ごすことで気分転換をしています。また、好きなアーティストのライブに行ったり、家族と過ごしたりする時間も大切にしています。

先生から読者への
メッセージをお願いします！

看護は、人の人生に深く寄り添うことができる魅力的でやりがいのある専門職です。学ぶことは多く大変なこともあります。その分、人としても大きく成長できます。学生の皆さんには、ぜひ様々なことに挑戦し、多くの人との出会いを大切にしてください。皆さんが未来の医療と地域を支える看護職として活躍されることを期待しています。

令和8年度 科学研究費採択課題一覧

新規	研究者／氏名	研究種目	研究課題名
	神田 清子	基盤研究(B)	CIPNを有するがんサバイバーの在宅運動継続支援モデルの構築とRCTによる検証
	徐 淑子	基盤研究(C)	社会の多様性と保健医療福祉における臨床的・バイアスの研究
	渡辺 弘之	基盤研究(C)	ハンセン病元患者の子どもの「心身の負の連鎖」を断ち切る複合的支援プログラムの開発
	横川 史穂子	基盤研究(C)	在宅認知症がん患者家族を支える疼痛緩和ケアレナーシングプログラムの開発と評価
	小林 綾子	若手研究	医療ビッグデータ解析に基づく糖尿病外来看護の客観化と有効性検証
継続	研究者／氏名	研究種目	研究課題名
	石田 和子	基盤研究(B)	大腸がん患者の健康管理行動を活性化する在宅型継続支援モデルの開発と効果
	大久保 明子	基盤研究(C)	仏教看護の臨床実装に向けた研修プログラムの開発
	谷本 千恵	基盤研究(C)	アクションリサーチによる患者の自殺を体験した看護師支援プログラムの開発
	船山 健二	基盤研究(C)	精神科病棟の患者間における重大な他害行為の実態と対策
	東條 紀子	基盤研究(C)	老年看護学で育成する人生100年代のエンドオブライフケア教育モデルの構築
	石井 角保	基盤研究(C)	HDAC3によるゲノム三次元区画化制御に着目した甲状腺ホルモン不応症の病態解明
	岡村 典子	基盤研究(C)	看護基礎教育における対人援助職に必要なセルフケア教育プログラムの構築
	上田 恵	基盤研究(C)	日本社会におけるレスビアンカップルへのライフイベント教育支援モデルの開発と検証
	常盤 洋子	基盤研究(C)	ライフストーリー理論を活用した出産体験の振り返りにおける看護介入モデルの構築
	前川 絵里子	基盤研究(C)	神経・筋疾患の難病の親をもつヤングケアラーの経験－保健医療のニーズ探索と支援方法
	小林 宏至	基盤研究(C)	複合災害禍における障害児とその養育者のための「防災ピアプログラム」の開発と評価
	樺澤 三奈子	基盤研究(C)	進行肺がん患者の倦怠感セルフマネジメントを支える外来型Keep-Moving看護支援の開発
	高柳 智子	基盤研究(C)	移乗時に転倒した回復期脳卒中患者の「単独での移乗継続」を判断する指標の開発
	池田 よし江	基盤研究(C)	看護学基礎教育における薬理学の強化から臨床判断力を育成するストラテジーの構築
	関 睦美	基盤研究(C)	医療的ケア児の通常学校就学を可能にする学校看護師就労促進モデルの構築
	坂田 智佳子	基盤研究(C)	在宅療養への移行をつなぐ終末期がん患者の地域包括型看護ケアプログラム構築
	谷内田 潤子	若手研究	看護分野におけるリアルワールドデータの活用：健康教育評価のための方法論の探求
	増澤 祐子	若手研究	ポジティブな出産体験のためのピアサポートとヘルスリテラシー向上ツールの構築と評価
	八巻 ちひろ	若手研究	就労女性の月経教育に対するニーズに基づく教育プログラムの開発

領域紹介

自然科学(生物・医学)領域



どのようなことを学ぶの？

ここでは、主に高校生の皆さんに向けて紹介します。

自然科学(生物・医学)領域では、看護の土台となる「人体のしくみ」と「病気の成り立ち」を学びます。生命現象を科学的な視点から理解し、人間を一つの生き物として捉えることを大切にしています。授業では、高校で生物を詳しく学んでいない人や文系出身の人でも理解できるよう、身近な例や図を用いながら、丁寧に説明することを心がけています。知識を覚えるだけでなく、「なぜこの症状が現れるのか」「なぜこの治療や看護が必要なのか」を自ら考える力を育てることも大きな特徴です。自然科学の知識や考え方を身につけることで、一人ひとりの患者さんの状態を科学的な根拠に基づいて理解し、安全で質の高い看護につなげる力を養います。看護を「科学」と「人への思いやり」の両面から学びたい人にとって、自然科学領域はその第一歩となる分野です。



どのようなことを研究しているの？

自然科学領域の1年次の基礎ゼミナールでは、様々な行動が血圧に及ぼす影響を調べたり、組織切片の観察やDNA抽出実験等を行いながら、基本的なアカデミックスキル全般を学び、体験します。4年次には、少人数制の専門ゼミナールで看護研究に取り組みます。自然科学領域では、これまでに得られた基礎医学分野の知識や看護の経験をもとに、学生自身の興味のあるテーマについて主に文献検討を用いた研究を行っています。



大学院看護学研究科より

年に2回、大学院説明会を開催しています

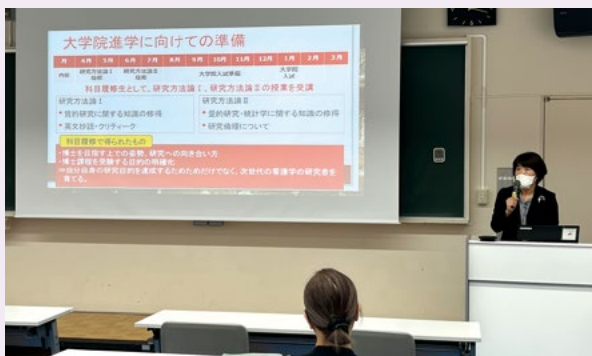
本学大学院では、設立以来、修士・博士の学位取得やCNS(専門看護師)を目指す大学院生を受け入れ、高度な看護実践や研究を担う人材を育成してきました。令和6年度には助産師コースが開設され、さらに学びの選択肢が広がりました。

本学の大学院について知りたい、大学院で学んでみたいとお考えの方は、ぜひ大学院説明会にご参加ください。毎年、初夏(5月あるいは6月)と秋(10月)の年2回、開催されます。説明会では、カリキュラムや各コースの紹介に加え、修了生の体験談や、教員による個別相談の機会も設けています。開催日時などの詳細は、本学ウェブサイトをご覧ください。お問い合わせ先までお気軽にお問い合わせください。

問い合わせ

教務学生課教務係

kyoumu@niigata-cn.ac.jp



修了生の体験発表より



大学院の授業は全て少人数制です

4年次の専門ゼミナール(看護研究)のテーマ

- スマートフォン使用と近視との関連に関する文献検討
- 肝臓の解剖生理学における認知的負荷軽減と概念的理解を促進する視覚的学習教材の開発
- 睡眠とアルツハイマー型認知症の関連に関する文献的考察 - ヒト研究・動物実験の知見をふまえたレビュー -
- 筋萎縮性側索硬化症(ALS)患者に対する総合的看護支援 - 呼吸・栄養・意思疎通・家族支援・多職種連携の視点から -

一部を紹介します

民謡流し

7月23日に開催された「高田祇園まつり 大民謡流し」に、本学の有志学生14名と教職員22名、計36名が参加しました。当日は厳しい暑さとなりましたが、参加者は笑顔で踊りを楽しみながら、地域の皆様と交流することができました。本学の参加者も息を合わせて踊り、会場は終始和やかで活気にあふれた雰囲気に包まれていました。

また、本学の地域行事への参加に対し、高田祇園まつり奉賛会様から感謝状と記念品が贈られ、学長が本学を代表して受け取りました。今後も地域とのつながりを大切にし、地域社会との交流や連携を深める活動に積極的に取り組んでまいります。

同窓会

新潟県立看護大学同窓会新会長就任のご挨拶

みなさん、こんにちは。今年度から新潟県立看護大学同窓会長を務めております、12期卒業生の川瀬です。日頃より本会の活動を温かく支えてくださる会員・関係者の皆様に、心より感謝申し上げます。

当同窓会は今年で設立21周年を迎えました。様々な制限があった時期を経て、近年は桜連祭での企画などを通じ、同窓生や在校生の皆様と直接お会いできる機会も増えてまいりました。

本会は、誰もが心地よく集まれる「開かれたコミュニティ」を目指しています。全国で活躍する多くの卒業生とともに、在校生の皆様を応援し、大学と連携しながらつながりを深める活動を展開してまいります。

今年度の桜連祭でも同窓会企画を実施いたしますので、ぜひお気軽にお立ち寄りください。また、これまでの活動は同窓会ホームページに掲載しておりますので、あわせてご覧いただけますと幸いです。

今後とも温かいご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

新潟県立看護大学同窓会
会長 川瀬 大輝
(12期生)

2025年度 桜連祭 同窓会企画「NCN Cafe~にこここ~」

桜連祭にお越しいただいた多くの方々に、一息つける憩いの場を提供しました。卒業生のお子さんが元気いっぱいCafeをお手伝いしてくれました。展示では、卒業生の幅広い活躍を紹介しました。

(出典) 新潟県立看護大学同窓会、(2025) 同窓会からのお知らせ、<https://www.niigatacn-dosokai.jp/post-582/>

オープン キャンパス 2026

来場型オープンキャンパス2026を8/2(日)・3(月)に開催しました。今年は、学生と教職員が一丸となって、来場者の人数を制限しない新たなやり方に挑戦いたしました。成果としましては、2日間にわたり566名の高校生と保護者の皆様にご参加いただきました。模擬講義や体験演習、施設見学、在学生との懇談などを通して、本学の魅力を体感していただきました。

今年は、キャンパスツアー動画を新たに作成し、学生インタビュー動画も更新しました。本学ウェブサイトにて随時閲覧できますので、webでも本学の魅力を感じてください。

Instagram

新潟県立看護大学公式Instagramでは、大学生活の日常風景やイベント開催時の様子など、様々な挑戦する学生の姿や情報を随時発信しています。ぜひご覧ください。

NIIGATA COLLEGE OF NURSING

編集後記

今年は、継燈式や民謡流しの記事をお届けすることができました。また、皆様のご支援のもと30年に向けた21年目をスタートすることもできました。本号よりオンライン版の発刊となりましたが、これからも本学が『挑戦し発展していく姿』を皆様にお届けしていきたいと思っています。今後もポルティコの広場をよろしくお願いいたします。

2026年10月発行